

令和7年12月8日
独立行政法人 家畜改良センター熊本牧場

「令和7年度超音波検査技術高度化研修会」を開催しました

牛の人工授精等における適期授精と繁殖成績向上のため、一般社団法人日本家畜人工授精師協会と家畜改良センター熊本牧場の共催による「令和7年度超音波検査技術高度化研修会」を開催し、家畜人工授精師のための超音波検査装置を用いた生殖器検査における講義と実技実習を行いました。

参加者は、超音波検査装置の使用に対して経験の浅い方が多く、講師に対して超音波検査装置の使用手法や手技等についての質問があり、活発な意見交換が行われました。また実技実習では、発情期、黄体期、妊娠初期の牛に対し超音波検査装置を使用し、卵巣や子宮の状態を確認していました。

参加者からは、「様々なステージの牛を超音波検査させていただき、とても勉強になった」「カラードプラの有効性が分かった」「超音波検査において、今まで不明だった点が今回の研修で詳しく知ることができた」など、高い評価を頂きました。

(※この研修会は、公益財団法人全国競馬・畜産振興会の助成を受け開催しました。)

【「令和7年度超音波検査技術高度化研修会」(令和7年度高度牛繁殖技術普及強化事業)】

- ・日時 令和7年11月20日(木) 10:00～16:00
- ・場所 (独) 家畜改良センター熊本牧場
- ・共催 (一社) 日本家畜人工授精師協会
- ・講師 国立大学法人鳥取大学農学部 西村 亮 准教授
- ・参加者 7名(山口県2名、高知県1名、福岡県2名、鹿児島県2名)



実技実習風景